



第21回定期総会＊学習会＊交流会 開催！

和やかに新年度のスタートを切りました。



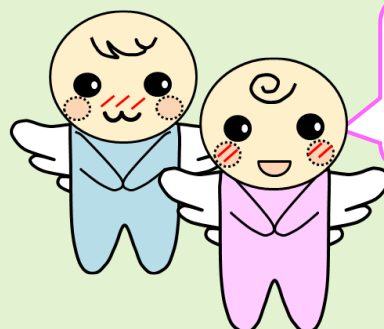
6月1日(日) 満20周年となる県サ連の**定期総会**

が、今年度は初めて千葉市を飛び出して、地元手話サークルの全面的な協力のもと、佐倉市にて開催されました。外口会長は、「今後はこのように県内様々な地域で開催できたら」との展望を語り、デフリンピックのある今年、「ワクワクする県サ連活動を目指したい」と挨拶しました。

千葉県聴覚障害者協会植野理事長からは、「今後、各ブロック持ち回りで総会を開催したいという外口会長の発案に諸手を挙げて賛成したい。県サ連はちば通研とともに県協会の両輪として必要な存在。デフリンピックの話があったが、障害者スポーツが福祉の枠から独立した。障害者スポーツは今、競技はアスリートのモチベーションを上げ、技術を磨くものと、生涯にわたり楽しむものがある。今後全国的な行事が千葉で立て続けに開催される。成功をおさめるには、今後もみなさまの力をお借りしたい。」とご挨拶いただきました。

また、千葉県手話通訳問題研究会米田会長代理としてご臨席いただいた石鍋副会長からも、「21年というと、人に例えるともうすでに成人し、歩いて行く年齢。地域や社会情勢の変化、錯綜する情報の中での、地域手話サークルの活動に敬意を表したい。今後、デフリンピックなど、イベントが増える。三団体で協力し盛り上げていこう。私もワクワクしたい。県サ連のご健勝とご発展を祈念する。」とご挨拶をいただきました。

議案であった会計細則の『分担金上限撤廃』案も承認され、無事改正となりました。



2025年度も
よろしくお願いいたします！

総会終了後、学習会企画「らいおんぐるーぷってなあに？」

講師として千葉聴覚障害者センター支援課課長の森美子氏にお越しいただき、講演会を開催しました。らいおんぐるーぷの施設は、県内に・らいおん工房就労継続支援B型事務所、・らいおん神明生活介護事業所・通所、・らいおん千葉/・らいおん香取地域生活支援センター、・らいおんホームそが共同生活援助事業所・空床型短期入所、・らいおん介護居宅訪問介護事業所、など様々あり、聴覚障害者に寄り添い、コミュニケーションができる居場所となっていて、それぞれの特色と、どのようなボランティアが求められているかをわかりやすくご説明いただきました。



また、森氏の実体験からのお話はとても心に響くものがあり、参加者が身を乗り出して聴き入る光景の中、あっという間の90分でした。

来場者からも、「今必要な、私たち手話学習者の力はなんだろうか？等を学ぶことができた。」「ボランティアに行ってみたい気持ちになりました。」「これからご協力できることがあれば繋がりたいと思いました。」などの感想が寄せられました。

予想していた人数をかなり上回る参加人数に、配布資料※が足りず、急遽印刷をするほどの大盛況でした。ありがとうございました。

(※加盟サークルへは配信済み)



学習会終了後、30分という短い間でしたが、交流会の時間を設けました。参加者全員で二重の円を作り、向かい合った内側の人と外側の人がお見合いフリートーク。内側には自称初心者。外側にベテランと聞こえない人。3分経ったら内側の人を右側へ一つずれます。



顔は見たことあるけど話したことがない相手や、住まいが離れている人も、初めましての人同志でも、盛り上がって夢中になり...

3分経っても腰が上がらなかったね



ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。
今年はさらに新たな交流の機会を検討中です。どうぞお楽しみに(^^)/



第1回役員会議 7月13日(日) 船橋市中央公民館・・・総会総括、その他予定

県サ連ホームページ <http://kensaren.sakura.ne.jp/>
発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久